

12月

12月
大

準備ノ整理ニ伴フ陸軍工廠ノ解雇ノ期迫
 マレニ際シ日本労働聯盟小石川労働會外ニ
 団体ヲ其對策トシテ聯合運動ヲ起シタルコト
 ニ就テハ業ニ申進報スル処下リシカ右四派聯
 合大會ハ豫定ノ如ク本日前後ニ時ヨリ市内小
 石川区初音町疎賣寺内ニ於テ會同者ハ殆ド殆
 兵工廠職工ニシテ約二百名ヲ集メ先現業員組
 合票集メテ各ハ愈々々ノ生活問題ハ目下ノ間
 =迫レリ工廠ハ「昨日吾々職工ノ解雇年商額
 ヲ察スルニシテ如斯ハ餘リニ小額ナレバ吾々
 ハ一般ニ日給ニテ年分ノ年當ヲ要求セテルヲ
 得スト迂々之ヲ國會ノ辯ニ代々續イテ各年士
 ノ演說ニ依リタルニ氣勢頗ル揚ラヌ後ヲテ何

12月

等ノ感動ナリ右幹部ハ殆ト失望ノ状態ニ下リ
 之レ一昨日尙島カ解雇年商額定額ヲ要求シ
 タルヨリシテ組合ノ運動ニ採キ期待ヲ有セテ
 ンルニ、如ク右幹部ノ演說ハ約四十分ニシテ
 終了スリ、小石川労働會石川忠三郎ハ業々四
 派幹部會ニ於テ協定スル事項(既報)ヲ朗
 讀シテ決議ニ代々日本労働聯盟垣内ハ
 今々経済界ハ不振ノ極ニ達シ地方ニテ
 ハ農村ニ小作問題起リ東都ニ在リテハ失業
 問題ノ頻出ヲ見ル其人ハ又ニ吾等傍觀スル
 天時期ニテラス將ニ失業ニ逼ラントスル者
 ハ之ニ對スル應戰策ヲ講メテカラス云々
 十レ宣言文ヲ朗讀最後ニ小石川労働會下村利